

令和 7 年度

運営に関する計画

令和 7 年 4 月 1 7 日

大阪市立南住吉小学校

めざす子ども像	思いやりをもち、助け合える子 自ら学び、最後までやりとげる子 健康で、たくましい子 目標に向かって、みんなで協力できる子
学校教育目標	「自他を大切にする心、確かな学力、健康な体を基盤とした社会に貢献できる子を育成する」

1 学校運営の中期目標

【安全・安心な教育の推進】

(1) 安全・安心な教育環境の実現

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を向上させる。

(2) 豊かな心の育成

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を向上させる。
- ・「自分に良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を向上させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(1) 誰一人取り残さない学力の向上

- ・全国学力・学習状況調査における平均正答率の向上をめざす。

(2) 健やかな体の育成

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の向上をめざす。

【学びを支える教育環境の充実】

(1) 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・1人1台端末を活かした学びの充実を図る。
- ・児童の心の状態や日々の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見と迅速な対応に努める。

(2) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ・働き方改革を推進し、過度な勤務時間の延長を防ぐ。

(3) 生涯学習の支援

- ・読書好きな児童の割合を向上させる。

令和 6 年度の総括と今年度の課題

現状と課題

昭和 33 年に開校した南住吉小学校は、多くの地元民から愛され地域の小学校としてその役割を担ってきた。最近、子どもの数が減少し、大阪市の小学校でも再編統合や一貫校への編成替えが進んでいるが、本校は学校選択制を利用した校区外の入学希望者が増加し、住吉区で最も児童数の多い大規模校となっている。そのため、各家庭での学校教育に対する考え方や、様々な家庭環境の違い等により、日々の児童の教育活動において、複雑かつ困難な対応が続く状況が多くみられる。また、いじめ問題については、暴言等への対応の充実が求められ、日常的な会話や遊びの中にみられるいじめ行為への指導体制の充実が課題として認識されている。

このような現状から、生活指導面の見直しをはかり、規律面の整備と学校組織の強化を進め、子どもが安心して学校生活をおくるための取り組みを進め、安心安全な学校に向けた指導の効果が出てきている。さらに、令和 6 年度よりこれまで課題であった、暴言などへの対応として、「ことば」を大切にし、うれしい「ことば」を増やす取り組みや、「みんなのために」活動できる取り組みを進め、さらに子どもたちにとって安心安全な学校となるよう教育活動を進めてきた。学力・体力については、大阪市や全国と比較して、低い状況にある。

令和 7 年度の課題としては、いじめのない安心安全な学校づくりに向けたさらなる取り組みの深化充実を図るとともに、ICT 機器の授業での活用を推進し、教員の授業力向上と児童の学力向上に向けた取り組みを。全教職員一丸となり重点的に進めていく。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・ 望ましい集団の育成に向けて、学年のまとまりを高める取り組みを学期に 1 回以上行う。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕
- ・ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 80%以上にする。
- ・ 主幹学校司書との連携を強化し、授業での学校図書館利用を増やし、読書指導を進める。

(様式2)

大阪市立南住吉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。・ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。・ 望ましい集団の育成に向けて、学年のまとまりを高める取り組みを学期に1回以上行う。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>◎いじめへの対応</p> <p>本校の「いじめ防止基本方針」を全教職員が共通理解をし、それをもとにいじめの未然防止といじめ対応を行っていく。また、基本方針を見直し、改訂すべきところは改訂し、より実践的かつ有効的なものにしていく。いじめアンケートをより有効的に活用する。そして、いじめ事象が起こった際、組織として対応を図り、その指導を適切に記録しておく。また教職員のいじめに対する問題意識を高め、対応を強化する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学期始めに、全職員で「いじめ防止基本方針」を熟読する時間を設ける研修会を開く。児童に対しては、「いじめについて考える日」に全校集会を開き、学校長からいじめに対する講話を行う。また毎学期に、各教科横断的にいじめにかかわる授業を行うとともに、「思いやり週間」実施することで、児童一人ひとりがいじめに対する考え方を深化させる。特に、言葉の使い方指導を重点的に行う。年間の教育活動を通して、規範意識の醸成や仲間を認め合う集団育成を行い、いじめを生みにくい環境づくりに努める。また教職員に対しては、いじめに関する研修会を数回開催する。いじめアンケートを実施後は、いじめ対策委員会を開催し組織としてアンケート分析を行い、早期対応を図る。また、事象が起こった際は、学年や学校組織として対応し、事実確認や指導を記録・保管し、引き継ぎをできるようにしておく。</p>	
<p>取組内容②【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>◎不登校への対応</p> <p>不登校の児童が登校しやすい学校環境を作る。また、関係機関との連携強化に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>不登校の児童やその家庭と密で丁寧な連携を図るとともに、関係諸機関とも協力し、児童や家庭に寄り添い、児童に合った登校の形を組織としてできる限り実現する。</p>	
<p>取組内容③【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>◎問題行動への対応</p> <p>南住吉小学校「学校安心ルール」に基づき、問題行動への適切な対応を行うとともに、問題行動の未然防止に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>「南住吉小学校安心ルール」を年度初めに児童や家庭に周知し、年間を通して組織的にルールにのっとり一貫した指導を行う。また、児童には毎学期始めにそのルールを再確認するとともに、日々の生活指導にそのルールを適応する。また、問題行動が起きないように、毎学期「生活点検週間」を実施するなどし、本校が特に大切にする10のルールの意識付けを行い、規範意識を醸成する。</p>	
<p>取組内容④【安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>◎児童虐待等への対応</p> <p>家庭との連携を密にし、ヤングケアラーやネグレクトを含む虐待等についてカウンセリングマインドを持って対応する。また、区役所や子ども相談センター等の関係機関との連携を強める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童の日々のようす（行動、発言、服装、体へのあざなど）を、しっかりと観察し、</p>	

<p>気になることがあれば職員間で連携して対応する。毎週の学年打ち合わせ会、月に1回の生活指導部会や職員会議後のスクリーニング会議を通して児童共通理解を密に図る。また、関係諸機関とも連携をとりながら、対応にあたるようにする。</p>	
<p>取組内容⑤【安全・安心な教育環境の実現】 ◎防災・減災教育の推進 警備及び防災計画に基づき、消防署・警察署・区役所と連携し、防災に対する児童の意識を高める。また、各教科と関連付けて、防災・減災教育を進める。</p>	
<p>指標 火事、不審者、地震・津波への避難訓練を学期に1回以上実施する。また、様々な緊急・災害時に児童が安心して保護者と出会えるための引き渡し訓練を実施するとともに、防災教育の授業を実施する。</p>	
<p>取組内容⑥【豊かな心の育成】 ◎人権を尊重する教育の推進 様々な人権を尊重する教育を通じて「自他ともに大切である」という心情を培う。また、暴言等を含めて、人が嫌がる行為をしないという教育を徹底する。</p>	
<p>指標 各教科横断的に、マイノリティ（障がい者教育、国際理解教育など）を理解・尊重する学習や反戦・平和学習を計画的に実施し、豊かな心を育めるような個・集団づくりを進める。また、教職員は、年2回以上人権教育研修に参加し、内容の共有を図ることで、人権意識の向上に努める。</p>	
<p>取組内容⑦【豊かな心の育成】 ◎インクルーシブ教育の推進 インクルーシブ教育を推進させるため、支援の在り方を工夫する。また、自校通級における指導や支援の実践・研究を進める。</p>	
<p>指標 児童理解の研修会や個別の支援計画の活用、実践報告、支担会および学年会への参加を計画的に行う。また、自校通級指導の実践及び研修を行う。</p>	
<p>取組内容⑧【豊かな心の育成】 ◎キャリア教育の充実 キャリアパスポートを利用し、年間を通してキャリア教育の充実を図る。</p>	
<p>指標 キャリアパスポートを学期初めに書くことで達成できる目標を設定し、学期終わりには振り返りを行うことで、自分の成長に気づき、自己有用感を高める。また、大きな行事を記載することで、行事を通して学級や学年の仲間と協力することや他者のために頑張ることの良さに気づけるようにする。</p>	

(様式2)

大阪市立南住吉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 <ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。・小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルドリルを活用しながら、各学年で身につけたい基礎・基本の学習事項を定着させる。 ・すべての教科領域で学習者用端末を活用し、子ども自ら学習への取り組み方を考え、対話しながら学習を進める授業の構築を図る。 	
<p>指標</p> <p>小学校経年調査で「授業で、パソコンやタブレットをどれくらい使っていますか」という問いに対して、「週3回以上」と答える子どもの割合を50%以上になるようにする。</p>	
<p>取組内容②【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>◎英語教育の強化</p> <p>C-NET および中学校からの英語加配の先生との連携を強化し、小学校教員として英語教育に主体的に取り組む。また、モジュール授業、絵本・DVDなどの教材を有効に利用し、英語に親しむ機会を増やす。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が日常生活の英語を活用できるよう年1回以上の研修を行い、共通理解を図る。 ・週2回のモジュール授業の計画と実施、状況に応じて絵本・DVDの活用を進める。 	
<p>取組内容③【健やかな体の育成】</p> <p>◎体力・運動能力向上のための取組の推進</p> <p>専科指導教員と担任との連携を強化し、専門的な指導を取り入れた効果的な体育指導を行う。また、すべての児童が運動に親しむ機会を多く持てるように工夫する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回全学年で運動に親しむ機会を設ける。 	
<p>取組内容④【健やかな体の育成】</p> <p>◎健康教育・食育の推進</p> <p>手洗いや清潔なハンカチ・ティッシュを携帯する習慣を身につけさせる。</p> <p>栄養・給食指導を通して、好き嫌いなく食べることの大切さを理解させる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回強調週間を設ける。 ・年2回、栄養指導の時間を設ける。 	

(様式2)

大阪市立南住吉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。・主幹学校司書との連携を強化し、授業での学校図書館利用を増やし、読書指導を進める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容②【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>◎データを根拠に児童の心の状況把握を推進</p> <p>「心の天気」の入力を習慣化し、教員は児童の心の状況把握に努める。</p> <p>指標</p> <p>・教員がスクールライフノートで毎日「心の天気」確認する。</p>	
<p>取組内容③【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>◎働き方改革の推進</p> <p>会議時間の短縮、校時の短縮、余剰時数の削減、定時退庁日の実施、校務分掌の分担など、教職員の負担が軽減できるように働き方改革を推進する。</p> <p>指標</p> <p>・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【生涯学習の支援】</p> <p>◎学校図書館の利用促進</p> <p>図書委員会による読書推進の活動、図書館開放、学級図書の改善、読書ノートの取り組み等を通して、読書活動と図書環境の充実を推進する。</p> <p>指標</p> <p>・本市調査における、「学校図書館貸出冊数（児童一人当たりの年間貸出冊数）」を50冊以上にする。</p>	